

広報  
277号

# 東京都製紙原料協同組合

発行所  
東京都製紙原料協同組合  
台東区台東3-16-1  
TEL (3831) 7980  
発行人 近藤 勝  
編集広報委員会



## 第 55 回 通 常 総 会

### 〈 主 な 内 容 〉

<b>時の視点</b>					
第 55 回通常総会開催	2	〔総会開催〕	城北支部長 黒田義孝	11~12	
理事長挨拶 理事長 近藤 勝	2~3	〔組合員紹介〕	江墨支部 澤村宜吉	12	
第 49 回永年勤続従業員表彰式	5~6		城南支部 坂田 亮	13	
第 49 回永年勤続表彰理事長挨拶	7	<b>組合員の広場</b>			
祝賀懇親会	8~9	花札の思い出	城南支部 坂田秀一郎	13~14	
青年部 総会開催 青年部幹事長 梨本竜範	9~10	<b>支部スケジュール</b>		14~15	
青年部 新幹事長挨拶		お知らせ		15~16	
青年部幹事長 梨本竜範	10	「6月・7月会議・催事予定」「古紙価格」			
<b>支部便り</b>		「社名変更及び代表者変更」「組合員脱退」「訃報」			
〔総会開催〕		会議概要〔3・4・5月〕		16~24	
山手支部庶務 徳永裕司	10~11	<b>編集後記</b>	広報部副部長 脇 克美	25	
//		広 告		26	
城南支部長 坂田 智	11				

## 時の視点

### 東京都製紙原料協同組合

### 第55回 通常総会 開催

日時：5月23日(月)午後3時45分～

会場：上野精養軒 3階「桜の間」

司会 赤染 常任理事

開会の辞 松井 副理事長

議長 清水 副理事長

閉会の辞 坂田 常任理事



去る5月23日(月)、東京都製紙原料協同組合第55回通常総会及び第49回永年勤続従業員表彰式が開催されました。

当日は、あいにくの雨交じりの天候となりました。会場は、木立も一層緑色を増した上野公園内精養軒で行われ、多数のご来賓、業界新聞社の方々がお出席くださいました。

本年は世界経済がようやく回復に向かうものと期待されておりました。しかし3月11日に東日本大震災が発生し、地震、津波により多くの尊い人命と財産が失われました。しかも、その後に、原発事故による放射能汚染と電力不足が発生し日本経済に未曾有の被害をもたらし、製紙産業をはじめ印刷、出版などすべての紙を取り巻く産業に甚大な打撃を与えました。

震災の影響で、個人消費の落ち込みなど、長期にわたり景気の後退が懸念される場所ではありますが、製紙原料としての古紙の存在価値は、いささかも揺らぐ物ではありません。地球環境に配慮したりサイクル社会到来の中、古紙業界は更にその存在意識が増していくことを確信しております。

上物古紙に関しては、過去1年間で価格修正は行われましたが、産業古紙の発生がますます減っている中、仕入競争が激しく集荷業の利益確保が難しくなっております。洋紙、家庭紙メーカーの製品市況は芳しくなく、古紙価格の上昇を吸収するだけの製品価格の値上げがなかなか難しいのが現状です。古紙の仕入先、売り先ともに構造的な問題を抱えています。

古紙及び製品の市況が従来以上に国際市場の影響を受ける中、関連業界との情報・意見交換がますます必要になってきております。引続き家庭紙メーカー、製本業界、印刷業界およびリサイクル業界とは定期的に交流を続けてまいります。また組合員相互の交流、啓発活動も支部単位で行うと共に、適宜、本部事業として行っていきたいと思っております。

## 理事長挨拶

東京都製紙原料協同組合

理事長 近藤 勝



本日は第55回の通常総会に大変お忙しい中、大勢の組合員の皆様にご出席を頂き有り難うございます。又、日頃から組合事業に対しご理解、ご協力を頂きまして誠に有り難うございます。

大変な大震災が起きました。製紙メーカーを始め紙に関わる大変多くの関連業界も被災致しました。震災の直後、東北の知り合いの業者から電話がありました。「道路、鉄道全て寸断され、陸の孤島になってしまいました。」と言われ私は「全国の皆が応援するから、あきらめないでとにかく頑張ってください。」と申し上げるしかありませんでした。この事態を受け、当組合は各支部を通して組合員一人一人に直接義援金のご協力をお願い致しました。お蔭様で約97万円という大変大きな寄付が集まり5月10日に100万円を日本赤十字社へ送金する事が出来ました。組合員の皆様にご報告申し上げると共に、ご協力に感謝申し上げます次第です。

さて、リーマンショックから2年が経過し、3年目となる本年はいよいよ景気回復の年と期待しておりましたが、3ヶ月も経たずに今回の震災が起きました。現在は多くの工場が再開、復旧し始めておりますが、放射能問題は終息せず、その影響は我々業界にも大変大きく及んでおります。今後風評被害や自粛等で個人消費が落ち込み、紙の消費減が一層進む事が予想されますが、私達は現地の復興を見守りながら、元気を出して今まで通りの生活に戻らなければならないと思います。

当組合は10年前、277社の組合員で構成されておりましたが、今年は211社と25%も減少してしまいました。このまま減少が続けば組合運営そのものにも支障が生じることとなり何とか歯止めを掛けなければなりません。現在、関連業界との交流を重点的に進めておりますが、今後もより一層幅を広げながら、続けていきたいと考えております。発生先の印刷業界では横並び意識の廃止

など、現在大きな業態変革に取り組んでおります。我々もそれに対応できる体制を構築しなければなりませんし、産業古紙が減っても必要な利益が確保できるようなサービス業を展開しなければならないと思います。

これからの時代、大変難しい業界運営となりますが、古紙センターや全原連の方針に沿いながら、組合員の皆様の英知を結集して乗り切っていきたいと考えておりますので、引き続きご協力を頂きますようお願い申し上げます。なお今総会は役員改選期となっております。忌憚のないご意見を賜り、スムーズな進行が出来ますよう重ねてお願い申し上げます。有り難うございました。

### 議案審議

〔組合員総数 211 名中 本人出席 46 名、委任状提出者 80 名、議決権有総数 126 名〕

- 第1号議案 平成22年度事業報告書承認の件  
(坂田 事業部部长)
- 第2号議案 平成22年度財産目録、貸借対照および損益計算書承認の件 (高橋宏明 会計理事)
- 第3号議案 平成22年度剰余金処分案承認の件  
(高橋 会計理事)
- 監査報告 (朝倉 監事)
- 第4号議案 平成23年度事業計画案決定の件  
(山口 事業部副部长)
- 第5号議案 平成23年度における収支予算ならびに経費の賦課及び徴収方法決定の件 (坂内 会計理事)
- 第6号議案 平成23年度における借入金額の最高限度額決定の件 (坂内 会計理事)
- 第7号議案 平成23年度における加入手数料額決定の件 (坂内 会計理事)
- 第8号議案 役員報酬の件 (清水 議長より)

第9号議案 理事及び監事選挙の件  
 以上、第1号議案から第9号議案はすべて原案通り可決されました。



松井副理事長



議長・清水副理事長



坂田常任理事

最後は坂田常任理事が閉会の挨拶をされて通常総会は滞りなく終了致しました。

尚、今回は役員改選時期にあたり第9号議案の中で新理事と監事を選挙しました。

代表理事、副理事長、専務理事、監事につきましては変更なく、理事3名が変更になりました。

新理事及び監事は次のとおりです。

理事 39名 (順不同・敬称略)

- [理事長] 近藤 勝
- [副理事長] 清水 弘允 松井 隆宏
- [専務理事] 夏目 茂
- [理事]
- 近藤 正彦 村上 雄三 名古路 勝彦
- 小森 修 坂内 大介 人見 一男
- 山田 祐康 上田 晴健 高山 昭二郎
- 近藤 昌和 近藤 清司 久保田 貞行
- 小林 健二 梨本 竜範 島村 拓也
- 藤井 康夫 清水 明利 廣田 圭吾
- 赤松 源裕 増田 唯之 高橋 宏明
- 新井 勝夫 脇 克美 宮崎 勝保
- 長井 義人 坂田 智 赤染 清康
- 山口 勝弘 石橋 駒雄 皆川 昇
- 工藤 裕樹 辻 忠敏 竹内 義人
- 伊藤 滋 武田誠一郎

[監事 2名] (順不同・敬称略))

- 朝倉 行彦 工藤 充彦



## 第49回 永年勤続従業員表彰式

午後5時～

通常総会終了後、引続き行われた従業員表彰式には多数のご来賓の方々ご参加くださいました。

開会の挨拶を高山総務部長がされたあと、上田常任理事の司会で本日表彰式に出席された被表彰従業員8名の方々に、近藤理事長から表彰状と記念品が贈呈されました。

司 会 上田 常任理事  
開会の辞 高山 総務部長  
閉会の辞 赤松 常任理事

### ご 来 賓（出席者）

- 衆議院議員  
田中 美絵子 様
- 都議会自民党特別顧問  
高島 直樹 様
- 経済産業省製造産業局  
紙業生活文化用品課 課長  
坂本 敏幸 様
- 経済産業省製造産業局  
紙業生活文化用品課 古紙係 係長  
佐々木 一成 様
- 東京都産業労働局商工部  
調整課 課長  
坂本 雅彦 様
- 東京都産業労働局商工部  
経営支援課サービス情報担当 係長  
人見 志のぶ 様
- 公益財団法人古紙再生促進センター  
専務理事  
木村 重則 様
- 公益財団法人古紙再生促進センター  
常務理事  
中村 好伸 様
- 公益財団法人古紙再生促進センター  
事務局兼事務部長  
白井 俊市 様
- 株式会社商工組合中央金庫上野支店支店長  
陳野 亮 様
- 全国製紙原料商工組合連合会 理事長  
栗原 正雄 様
- 関東製紙原料直納商工組合 副理事長  
山室 泰洋 様
- 社団法人東京都リサイクル事業協会会長  
上田 雄健 様
- 東京都資源回収事業協同組合 理事長  
吉川 太郎 様
- 東京都製本工業組合 理事長  
星野 一男 様
- 東京都印刷工業組合 専務理事  
生井 義三 様
- 東京返本加工協同組合 理事長  
工藤 裕樹 様
- 東京都製紙原料協同組合 相談役  
野村 宮三郎 様
- 東京都製紙原料協同組合 相談役  
坂田 秀一郎 様
- 大同生命保険株式会社首都圏地区  
営業本部部長  
本田 博巳 様
- あいおいニッセイ同和損害保険（株）  
東京北支店大泉支社 支社長  
山村 勉 様
- あいおいニッセイ同和損害保険（株）  
東京北支店大泉支社 課長  
下方 英正 様

- 株式会社ウイル・プロモート 社長  
近藤 靖俊 様
- 株式会社ウイル・プロモート 部長  
宮内 亮一 様
- 杉山会計事務所 税理士  
杉山 靖彦 様
- 納土社会保険労務士事務所  
納土 祥滋 様



**表彰従業員氏名**

□ 男性 ◆ 女性 (順不同、敬称略)

**〔勤続 20 年以上〕**

2 名

- 菱沼 孝行 [三弘紙業(株)]
- 横山 健二 [(有) 富士紙業]

**〔勤続 15 年以上〕**

9 名

- 斎藤 博樹 [三弘紙業(株)]
- 加藤 直人 [三弘紙業(株)]
- 岡本 哲三 [三弘紙業(株)]
- 杉原 正信 [三弘紙業(株)]
- ◆ 大橋 美枝子 [美濃紙業(株)]
- 熱田 哲男 [美濃紙業(株)]
- 根本 道之 [美濃紙業(株)]
- 根本 康之 [美濃紙業(株)]
- 松本 尊治 [(有) 富士紙業]

**〔勤続 10 年以上〕**

8 名

- 佐藤 智央 [(株) 赤松商店]
- 堺和 伸行 [美濃紙業(株)]
- ◆ 田中 勝子 [美濃紙業(株)]

- 初芝 広之 [美濃紙業(株)]
- 富崎 治男 [(有) 坂田亮作商店]
- ◆ 長谷川 久子 [(有) 黒田商事]
- 佐久間 義雄 [(有) 富士紙業]
- 北條 朝夫 [(有) 富士紙業]

**〔勤続 5 年以上〕**

19 名

- 下田 正 [グリーンロジテック(株)]
- 松川 雅利 [グリーンロジテック(株)]
- 大野 和彦 [グリーンロジテック(株)]
- 木崎 昇 [(株) 赤松商店]
- 山口 正 [美濃紙業(株)]
- 大久保 稔 [美濃紙業(株)]
- ◆ 後藤 奈美恵 [美濃紙業(株)]
- 兒玉 章夫 [美濃紙業(株)]
- 松倉 史徳 [美濃紙業(株)]
- 大石 一弘 [美濃紙業(株)]
- ◆ 山下 ゆかり [美濃紙業(株)]
- 河原田 弘 [(株) 共益・商会]
- 山元 竜一 [(株) 共益・商会]
- 二ノ宮 利春 [(株) 共益・商会]
- 坂巻 満 [(有) 坂田亮作商店]
- 酒井 貴文 [大洋紙原(有)]
- ◆ 古川 愛子 [(有) 黒田商事]
- 高橋 和也 [(有) 黒田商事]
- 横山 浩司 [(有) 富士紙業]

以上 38 名 (女性 6 名)



高山総務部長

## 第49回

## 永年勤続表彰 理事長挨拶

本日は第49回永年勤続表彰式に大変お忙しい中、衆議院議員 田中美絵子様、都議会自民党特別顧問 高島直樹様、経済産業省、東京都産業労働局、公益財団法人古紙再生促進センター、そして大勢のご来賓の皆様、又、被表彰者代表の皆様方にご出席を賜りまして誠に有難うございます。

今年度は38名と昨年より10名多くの従業員の方々が、日頃の会社業務に対する貢献を評価され各社社長様の推薦を頂き、本日ここに目出度く表彰式を開催する事になりました。心からお祝いを申し上げます。一口に永年勤続と申しましても、会社勤務とは大変厳しいものであり、今日まで仲間同士お互いに支えあってきたものと思います。5年、10年、15年という節目がこれまで自分自身どうであったか、これからの5年どう望んでゆくかという事を考えてみる為の、今日は良い機会になるのではないかと思います。

近年、コストの削減や作業のマニュアル化によってこの永年勤続表彰を行うような会社が減ってきているような傾向があります。しかし、そこには必ず重大な事故や災害が発生する危険性が高まっています。長年培ってきた失敗や成功の経験こそが品質管理のみならず、作業の安全、災害の防止、お客様に対するサービスの向上に役立っているのです。

本日表彰された皆さんはその経験を会社から十分評価され、将来の発展に生かして欲しいと期待されている方々です。私達の仕事は限りある資源を大切にするというリサイクル社会を支える重要な仕事です。今後もそれぞれの会社の発展の為に勤務を続けて頂きたいと思います。

最後になりますが、本日表彰されます38名の皆さんの益々のご活躍と会社のご発展を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。本日は有難うございました。



## 来賓ご祝辞

□衆議院議員 田中 美絵子 様



□経済産業省 製造産業局 紙業生活文化用品課  
課長 坂本 敏幸 様



□東京都産業労働局商工部  
調整課 課長坂本 雅彦 様





被表彰者を代表して三弘紙業 株式会社 齋藤 博樹様より謝辞をいただきました。



表彰者全員



閉会の辞 赤松常任理事

## 祝賀懇親会

午後6時～

引き続き午後6時より3階桜の間で祝賀懇親会が行われました。

司会者の小森常任理事の開宴の辞に続き、来賓を代表して都議会自民党特別顧問 高島直樹様、公益財団法人古紙再生促進センター専務理事 木村 重則様、全国製紙原料商工組合連合会 理事長 栗原 正雄 様のご祝辞をいただき、司会者

より他のご来賓の紹介の後、東京都製本工業組合 理事長 星野一男様に乾杯の音頭をとっていただき宴が開かれました。

また、同じ上野精養軒で総会を行っていた組合 青年部の皆さんも加わって賑やかな祝賀会となりました。

最後に、宮崎常任理事の中締め、閉宴の辞と三本締めで終了となりました。総会から出席頂いた組合員の皆様にはお疲れ様でした。

また、都合で会場には来られなかった株式会社 商工組合中央金庫 代表取締役社長 岡哲夫様より祝電を頂戴いたしました。また、全ての式典が無事終了しましたことを心より御礼申し上げます。

司 会 小 森 常任理事  
中締め 宮 崎 常任理事

### 来賓ご祝辞

- 都議会自民党特別顧問  
高島 直樹 様



- 公益財団法人 古紙再生促進センター  
専務理事 木村 重則様



- 全国製紙原料商工組合連合会  
理事長 栗原 正雄 様



**乾杯のご発声**

- 東京都製本工業組合  
理事長 星野 一男 様



閉会の辞 宮崎常任理事

**青年部 総会開催**

青年部幹事長 梨本 竜範

去る5月23日(月)、組合総会と同じ日に、青年部通常総会が上野精養軒で開催されました。

出席者と委任状出席により総会は成立し、下記各議案もそれぞれ承認され、無事に総会は終了しました。

第1号議案 平成22年度事業報告書承認の件

第2号議案 平成22年度会計決算報告書承認の

### 件および監査報告

第3号議案 平成23年度事業計画案決定の件

第4号議案 平成23年度収支予算決定の件

第5号議案 役員改選の件

前期に引き続き、坂内青年部長に留任していただき、新幹事長に私、梨本が選任されました。さらに本部から松井副理事長、宮崎集荷部長にご出席いただきました。

青年部は、廣田幹事長が2期4年間、組合活動を盛り上げていただき感謝の気持ちでいっぱいです。今年度は研修旅行や他組合との交流、勉強会などを行う予定です。

総会終了後は、本部の祝賀懇親会にも参加し、舞台の上での紹介を受け、部員一同楽しいひと時を過ごさせていただきました。近藤理事長をはじめ、本部役員の皆様、大変ありがとうございました。

## 青年部 新幹事長挨拶



青年部幹事長

**梨本 竜範**

この度、青年部総会におきまして、新幹事長に選任

されました、文京支部の(株)梨本の梨本竜範です。

私は、この東京協組青年部に、この業界に入っただけで、お声をかけてもらって参加させてもらい、今までの部長や幹事長の仕事を見てきて、大変な仕事だと思い、そんな大役の一つの幹事長を、引き受けてしまってよかったものか、日を追うごとに責任の重大さを痛感しております。

青年部の活動について、青年部部長を中心に他業種との交流会、研修旅行、勉強会、納涼会や忘年会、その他レクリエーション、そして、本組合

の活動のお手伝いなど、幹事会、青年部会を開催して、組合活動が、円滑に進み、参加していただいた青年部員が勉強になり、楽しく、思える人が多くなればいいのかと思います。

私自身、青年部に入り、仕事のことや、組合活動の大変さや、研修旅行や幹事会の際の、懇親会などで飲み過ぎてしまったり、いろいろ、失敗してしまったり、諸先輩方や、部員に教えてもらったり、助けてもらったり、楽しい中にも学んできたので、新たな仲間、新たな行事も増やしつつ、なにより今までの伝統ある青年部を大事に大切にしていきたいと思っています。

恩返しも含め、今期の青年部幹事長を、微力ながら頑張ります。若輩者ではございますが、組合員の皆様の温かいご指導、ご鞭撻をお願いいたします。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 支部便り

### 山手支部 総会を開催

山手支部庶務 **徳永裕司**

去る、4月16日(土)江戸川橋の「鮭やなぎ」に於きまして平成23年度 山手支部総会を開催いたしました。当日は13名の出席があり、委任状も届けられ総会は成立しました。

庶務の司会で議長には宮崎理事が選出され

第1号議案 平成22年度事業報告の件

第2号議案 平成22年度決算報告承認の件及び監査報告

第3号議案 平成23年度予算案承認の件

第4号議案 金融部会計報告

また、第5号議案の理事改選では評議員からの推薦で長井、脇の両氏が選出され、互選によって

脇氏が新支部長に決定いたしました。

滞りなく、総会も終了し宴会となりました。大震災の後でもありましたが、宴はそれなりに盛り上がり、また多くの支部員さんから沢山の義援金をお預かりしました。

## 城南支部 総会開催

城南支部長 **坂田 智**

城南支部総会は、5月28日の土曜日に、品川の立会川駅ちかくのそば会席の吉田家で開催されました。

吉田家さんは、創業安政参年の伝統のある、木造の見事なお屋敷を改造したお店で、池にはおおきな鯉が何百匹も泳いでいて、それは素晴らしいものでした。お忙しい中近藤理事長にご出席頂きました。午後6時からの総会では、議事進行もスムーズに運び無事に平成22年度の城南支部総会も終了いたしました。

部屋をかえて臨んだ宴会には、リバーアップの3名のコンパニオンに加わって頂き支部長の挨拶ののち、近藤理事長にご祝辞を頂き、いよいよ皆さんが待っている乾杯のご発声です。

乾杯のご発声は、長年支部ならびに本部の副理事長を務めて頂いた、坂田秀一郎さんをお願いしました。乾杯の皆さんの声は一段と高く元気なものでした。ここからは、コンパニオンさんと22名の出席者と和気あいあいと宴席は進みました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、中締めをお願いしたのは、やはり支部に長く貢献して頂いている、井出紙業株式会社の井出正宏社長でした。最後に、総会書類などすべてを今回も見事にやっていただいた、井出紙業専務本当に感謝致します。ありがとうございました。

## 城北支部 総会開催

城北支部長 **黒田 義孝**

場 所：埼玉県川口市東内野日本料理ふじ

東北、三陸地方、大地震、マグニチュード9・0津波発生、原子力発電所事故。大震災被害、死者、行方不明者、約3万人避難者約14万5千人となり、被害を受けられた方々と、関係者の皆様に心からのお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈りしています。

政府は東日本大震災と認定した。

城北支部総会は役員改正年度は1年置きにて1泊旅行する事に成っている。今年も静岡県熱海市にホテルを予約して有ったが、今回の震災で、この時期に熱海温泉に行ってよいのかとの意見もありました。又、総会の案内状も委任状が多く開催場所をやむをえず変更致しました。

1号議案から5号議案まで承認頂きました。

黒田支部長は城北支部顧問になりました。

新支部長 (株) 辻商店 辻忠敏氏

新理事 (有) 武田商会 武田誠一郎氏

新評議委員 (有) 黒田商事 黒田真司氏

懇親会に入り新支部長 辻忠敏氏より挨拶を頂き、皆さんの協力を求め、皆さんが協力する事を誓って、和気あいあいのうちにお開きになる。

23年度理事評議委員は下記の通り(敬称略)

支部推薦理事 (株) 辻商店 辻 忠敏

本部推薦理事 (株) 皆川商事 皆川 昇

本部推薦理事 (株) 工藤商店 工藤裕樹

支部推薦理事 タケヨシ紙業 竹内義人

支部推薦理事 (株) 千 足 伊藤 滋

支部推薦理事 (有) 武田商会 武田誠一郎

支部顧問 (有) 黒田商事 黒田義孝  
 評議委員 (株) 丸康商店 郷野重孝  
 評議委員 船戸商店 船戸武男  
 評議委員 (有) 中村紙業 中村徳昭  
 評議委員 桑原秀一商店 桑原秀一  
 評議委員 スズ紙業 鈴木義一  
 評議委員 (有) 黒田商事 黒田真司



## 組合員紹介

広報誌では、3月号より始めました組合員紹介を  
 毎号2名ほど、下記の要項で順次ご紹介してい  
 く予定です。

### [江墨支部]

製紙原料サワムラ商店 サワムラ ノブヨシ  
 澤村 宜吉



年 齢 : 46 歳  
 血液型 : A 型

体 型 : 大柄  
 似ている人、  
 又は動物にたとえたら: 熊、ゴリラ  
 業界歴 : 30年以上  
 何代目 : 2代目  
 他業界歴: 無  
 趣 味 : バイク、カメラ  
 取得免許: 二輪(中型)、四輪(普通)  
 好きなスポーツ: 柔道、モータースポーツ  
 // 俳 優: 中村 雅俊  
 // 作 家: 片岡 義男  
 // 学 科: 数学  
 // 言 葉: 人生いろいろ  
 // 食 べ 物: 肉  
 飲 酒 : 日本酒  
 タバコ : マイルドセブン ONE ロング  
 その他なんでも  
 好きな物: 旧車(二輪)、神社  
 嫌いな物: 虫  
 お薦めの店 : 升本、吉葉  
 // 施設 : 秩父神社、常盤神社、巖島神社  
 お勧めの場所: 巖島神社、一色海岸(神奈川)  
 自分の性格 : 情にもろい、世話好き、涙もろ  
 い せっかち、几帳面

### [古紙業界に入って思う事]

- ①大切にしている事: 信用、信頼
- ②業界に入って良かった事: いろいろな情報がわ  
 かる
- ③仕事上で組合員同士のネットワークに興味があ  
 りますか?: ある

## [城南支部]

(有) 坂田亮作商店 サカタ 坂田 マコト 亮

年 齢 : 54 歳  
 血液型 : B 型  
 体 型 : 大柄  
 似ている人 : バナナマン日村 (お笑い芸人)  
 業界歴 : 30 年  
 何代目 : 2 代目  
 特 技 : サッカー、フットサル (現役)  
 趣 味 : ゴルフ  
 資 格 : 英検 1 級  
 日本サッカー協会公認 C 級コーチ (現役)  
 // 3 級審判員  
 免 許 : 普通自動車免許、フォークリフト免許  
 好きなスポーツ : サッカー、アメフト、大相撲  
 ゴルフ  
 // 俳 優 : 柴崎 コウ  
 // 歌 手 : AKB48  
 好きな作 家 : 東野 圭吾  
 // 学 科 : 英語、体育 (実技)  
 // 言 葉 : 努力、根性、忍耐  
 // 食 べ 物 : ラーメン二郎  
 愛読書 : ほとんどたまらない預金通帳  
 嫌いな食べ物 : ナス  
 飲 酒 : ほとんど何でも  
 タバコ : マイルドセブン 1 日 10 本  
 その他何でも  
 好きな物 : 海、素敵な女性、サッカー

お薦めの店 : おでん屋「ひで」渋谷円山町  
 // 施設 : 大江戸博物館、逗子マリーナ  
 // 場所 : ハワイマウイ島 (ゴルフ場)

いつか行きたい所 : ニューヨーク

自分の性格 : おっとり、情にもろい、世話好き  
 きが長い、涙もろい、几帳面、  
 体育会的

## [古紙業界に入って思う事]

①気を付けている事 : お得意様への対応

古紙製品の画一化

②大切にしている事 : 組合員すべて、お得意様

③業界に入って良かった事 : 良い友人が大変多い

④業界に入って悪かった事 : 古い体質

⑤仕事上で組合員同士のネットワークに興味がありますか? : 大変ある (インターネットの普及)

⑥その他何でも : 先人達の御苦勞あつての現在

## [組合に対して]

要 望 : 青年部の横のつながり

その他何でも : いつも感謝しています

理事長の人柄に大変惚れております

## 組合員の広場

## 花札の思い出

城南支部 坂田 秀一郎

昔の組合員は、旅行に行くと必ず、宴会後は花札をやっていた。カラオケ、ゴルフとか携帯の無い遠い昔の話だ。キャバレー全盛の時代、チャンキおけさが流行。茶飲み茶碗を叩いて割りばしで叩く。新橋界限でやりました。

さて、芸者さんも一緒になって場に貼る事もあった。製本業者の旅行にも参加して花札の手ほ

どきなんかしたことも今は思い出。競馬もバリアーで6枠制。競輪ではちょいちょい飲み屋殺しという手口があった。暴力団が本命の窓口を封鎖（車券売場）飲み行為業者から大量に買う手口、そんな時代だ。

日本酒を傍に置いて、花札を捲く時の気持ちはすごく複雑で興味津々、そう麻雀なんかもそうである。手が小刻みに震えて、なかなか札が捲くれない人、段々熱くなって来る人、なかなか退めない人、勝ったら旨く逃げていく人、態度は色々だ!!

明け方迄やって芸者さんを一晚中部屋に置き去りなんて云う人もいた。昔の人は豪快だった。因みに花札の10月もみじの鹿の札、あの鹿がプイ!!と横を向いている処から、シカとするとかされたとか、人を小バカにする意。しかの10でシカト、又ピカイチ・・・光一（ぴかいち）なんてよく使う。此れピカイチだよ、他の物より優れている意。これも花札から来ている。8枚の手役で、その中の7枚がスツタ札0点、1枚が20点、この時の状態をピカイチと云う。1月松、2月梅、3月櫻、4月藤、5月あやめ、6月ぼたん、7月ハギ、8月月とすすき、9月菊、10月もみじ、11月柳雨、12月桐である。

ピカイチもいけどスツタもんだ云わないで、組合の為に皆んなで頑張ろう。

大震災大津波に遭われた人々を応援しよう。



## ♪ことわざミニ知識♪

「泣いて馬謖（ばしょく）を切る。」

私情において忍びないが、全体の統制を保つために、たとえ愛するものでも止むを得ず処罰する事。三国志で有名な諸葛孔明の部下の武将・馬謖が、命令に背いて大敗を招いたとき、孔明はその責任を追及して馬謖を斬った。

会社経営でも依怙臆員（えこひいき）をしてはいけない。誰にでも説明のできる平等な待遇をしてこそ、初めて社員がついてくる。

平等な待遇の中に、経営者自身を入れる事は至難のわざではあるが。

## 支部スケジュール

### 千代田支部

納涼会	7月 9日 (土)	椿山荘
支部会	9月 7日 (水)	菜の家
支部会	10月 5日 (水)	菜の家

### 中央支部

支部会	7月 8日 (金)	玉寿司
支部会	8月 12日 (金)	もんじゃ「きくち」

### 文京支部

支部会は未定

### 台東支部

納涼会 7月中旬 精養軒ビアガーデン

### 荒川支部

納涼会 8月 20日 竹芝栈橋  
東京ヴァンテアンクルーズ

### 足立支部

支部会は未定

**山手支部**

支部会 7月19日(火) やまぎ

納涼会 8月6日(土) 椿山荘

**城南支部**

納涼会 7月30日(土) 場所未定

**江墨支部**

納涼会 7月20日(水) 吉野すし

**城北支部**

支部会 7月8日(金) 場所未定

**◎義援金について**

3月11日の震災に対しまして東京協組では各支部を通じて義援金を募りました。支部で約97万円が集まり組合本部から差額を加算して100万円を5月10日に「日本赤十字社 東日本大震災」宛てに、寄付致しました。

皆様のご協力ありがとうございました。

**お 知 ろ せ****[6月・7月会議・催事予定]**

6月23日(木) 古紙センター関東地区委員会  
(pm1:30～) センター会議室  
" 静岡県紙業協会家庭紙部会との  
懇談会  
事前会議 (pm1:15)  
本会議 (pm2:00)  
於) 富士工業技術支援センター  
6月29日(水) 清風会コンペ 阿見ゴルフ  
クラブ [7月会議・催事予定]  
7月4日(月) 共販輸出検討委員会  
(pm1:30～)  
於) 上野・東天紅  
" 常任理事会 (pm2:00～)

理事会 (pm3:30～)

上野・東天紅

" 終了後、清風会の講演会  
(pm5:00～)

清風会納涼会

(pm6:00～) 上野・東天紅

7月25日(月) 製本工組との古紙関係協議会  
(pm4:00～)

懇親会 (pm5:30～)

上野・精養軒

7月27日(水) 古紙センター業務委員会  
(pm13:30～)

センター会議室

" 全原連役員会 (pm2:40～)

"

**[古紙価格]****[東資協の古紙4品の標準売値]**

平成23年5月9日現在

\*新聞 9～11円(横ばい)

\*雑誌 7～9円(横ばい)

段ボール 8～10円(横ばい)

色上(並) 7～9円(横ばい)

**[古紙品質調査事業]** 平成23年4月～6月価格

[新聞 古紙] 16,000円/トン

[段ボール古紙] 16,000円/トン

**[社名変更及び代表者変更]**

千代田支部: 名古屋紙業(株)

「代表者 名古屋 勝彦様」→平成23年4月1日より

(株)ナコジ 新代表 辻 昭彦様(代表取締役社長)

新住所: 〒101-0054 千代田区神田錦町2-7

電話番号: 5280-3710 fax 番号: 3291-0474

尚、名古屋 勝彦様は代表取締役会長となります。

**[組合員脱退（平成23年3月末）]**

## [荒川支部]

- ・宮内権四郎商店（代表者 宮内 権四郎）  
廃業

## [足立支部]

- ・上州屋商店（代表者 上岡 正矩）  
廃業

## [山手支部]

- ・小林紙業（代表者 小林 文泰）  
廃業
- ・早稲田紙業（株）（代表者 佐藤 計雄）  
廃業

- ・（有）腰越商店（代表者 腰越 彰）  
廃業

- ・山吹紙業（代表者 近藤 直樹）  
自己都合

## [江墨支部]

- ・武田紙業（株）（代表者 武田 淨）  
廃業

## [城北支部]

- ・（株）宮川紙業（代表者 宮川 富次）  
廃業
- ・伊藤商店（代表者 伊藤敬三）  
自己都合
- ・広神紙業（代表者 広神 十七七）  
廃業

**[訃報]**

## 「城南支部」

（有）坂田亮作商店（代表者 坂田智）のご尊父坂田亮作様（享年93）が5月1日にご逝去されました。

## 「荒川支部」

吉田紙業（代表者 吉田 一茂 様）のご母堂吉田貴美子様（享年73）が平成23年5月29日にご逝去されました。

**会議概要 [3月・4月・5月]****3月度定例理事会**

[平成23年3月3日（木）] pm4:00  
出席理事 28名 於）組合会議室

**近藤理事長挨拶**

関東商組の深田理事長がご逝去のため、正式に大久保理事長代行が理事長に就任しました。

2月23日に広報部主催による集荷部の座談会が開催され、集荷部の現状、問題点等について話合われました。今後の組合の取り組み方について重要な課題も出ており検討していかなければならないと思っております。今月11日には静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会が開催されます。製品市況や古紙需要について組合員の皆様へ最新情報をお伝えできればと考えております。あと2ヶ月で総会となり忙しくなりますがご協力をよろしくお願い致します。

**[各部報告]****[直納部]**

直納部主催の海外メーカー工場視察は、9月16日（金）～19日（月）の日程で実施する予定である。行先は、まだ決定していないが、候補地としてシンガポールのヤード見学等があがっている。

3月度の共販輸出は3社による入札となった。結果、松本光春商店（株）が先月より50銭の上げで落札し、輸出先は中国。仕向地の中国の市況は、旧正月明けに価格が上昇し高単価で推移している。今後の原油高の影響があれば、単価現状維持も難しいとの推測。価格は今が最高値と思われるので、今後は下降傾向ではないかと推測。海外の需要に関しては引き続き強含みである。一方、仕

向地がフィリピンと韓国の市況は、相変わらずの円高傾向であるが、ドル建て販売価格が強含んでいる関係から円建てでも微弱ながら強い模様。

国内の市況は、洋紙が減産強化。板紙は好調。関西で特に発生が悪く、一部に運賃補助が出てきているようである。板紙は古紙原料が若干、ショートごみの状況である。家庭紙は操短、低位安定状態。

#### [品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙メーカーは減産をして、3月後半から4月にかけて製品価格の修正をしていくようである。産業古紙、オフィス系の古紙の発生が悪かった。現在、家庭紙メーカーは何とか機械を動かすほどの原料在庫は確保しているようである。

[段ボール] 国内メーカーは操短をしているが、メーカーの古紙在庫は減少傾向である。

[新聞・雑誌] 特に変化はない。輸出は最高値から少し下がり目である。在庫が少なく、出したくても出せない状況である。

[台紙] 発生が悪く、変化なし。発生が少ないので、普段なら回収しない紙ごみ等も持っていく状態である。

[オフィス古紙] 2月は発生が悪かった。発生が少ないので産廃系の業者が有料で買い取ったり、無料で回収に来る所が出ているようである。

#### [集荷部]

発生が悪い。中とじ業者で廃業している所が増えている。今後、産業古紙だけの取り扱いでいいのか検討していきたい。

#### [広報部]

現在、広報誌3月号の準備中である。すでに原稿を依頼していて、まだ提出のない方は早めに提出をしてほしい。3月号より各支部の支部員の紹介(アンケート方式)を掲載予定している。順次、掲載するので、未提出の支部は1名分を掲載してほしい。今回の「時の視点」は2月23日に組

合会議室で集荷部を中心とした座談会を開催したので、その内容の記事を掲載する。内容としては支部により集荷の形態が異なっているのが大きな特徴としてあげられる。限られた時間だったので、今後も2回、3回と続けていきたい。

#### [事業部]

都市近代化事業協同組合と関東自動車共済協同組合を組合に招いて、自動車共済についての説明をしてもらった。今回は、より理解を深めるため、実施元である関東自動車共済協同組合の方の話を中心に、事故処理等の説明と皆さんからの質問を受け付けた。

総会資料の事業計画を作成中です。23年度は現在行っているガソリンカードをさらに広めたい事と都市近代化事業協同組合の自動車共済保険についても利用を広めたいと思っています。

#### [青年部]

3月9日に青年部会を開催する。議題は青年部総会や研修等について予定している。

#### [近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーと品質管理資格者の試験を別々に行うよう準備中である。

#### [その他]

・紙器協同組合と会合を年に1回(3月～4月頃)持つ方向で話を進めていく。

・東印工組との会合を11月に開催予定で準備中。

## 直納部委員会

[平成23年3月9日(水)] pm3:30～

出席委員 15名 於) 組合会議室

#### [市況全般について]

国内の洋紙は減産強化。板紙は順調。国内以西での発生が悪く一部メーカーでは運賃補助のところも出てきている。

2月は前月比で低調。発生は20%減。輸出は過熱ぎみである。

#### [家庭紙]

家庭紙メーカーは3月下旬から4月にかけて製品価格の修正に期待している。家庭紙古紙原料の1月～2月の発生は悪い。3月に入り少し荷物が入ってくるようになった。現状では家庭紙メーカーへの古紙原料の入りは潤沢のようである。需給のバランスがとれておりタイト感がなくなってきたように思える。製品の動きも鈍く一部のメーカーでは製品在庫をかかえているところもあるようである。

#### [各社の動向]

発生は1月、2月に比較すると少し良い。在庫はランニングストック状況のところが多い。オフィス系は輸出業者に流れている。

#### 「家庭紙部会に向けて」

- ①発生のお少なさと在庫のお少なさを強調する。
- ②家庭紙古紙原料の現状と輸出との格差を説明する。
- ③集荷の現状を伝える。

### 集直合同委員会

[平成23年3月9日(水)] pm4:30～  
出席委員 18名 於) 組合会議室

#### [共販輸出について]

東京協組の3月の共販輸出については前月より50銭高い価格で入札された。輸出先は中国。

#### [直納部の現状]

発生は1月、2月と比較すると3月は、やや上昇。今後の発生は期待しにくい。在庫は減少しており各問屋はランニングストック状態である。家庭紙には価格面での修正を期待したい。

#### [集荷部の現状]

3月の発生は、2月と比べると良くなってきてお

り昨年と比較すると10%～20%増。昨年が悪すぎた事も考えられる。2月の中旬頃から動き出してきたが一過性でない事を望む。中とじが非常に悪い。

#### [その他]

(財)古紙再生促進センターが会議に参加予定。

### 古紙センター業務委員会

[平成23年3月24日(木)] pm1:00～  
於) 古紙センター会議室

- [1] 平成22年度第6回評議会、第48回通常理事会について
- [2] 平成23年度4月～9月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について
- [3] 各地区の震災後の状況・課題・意見等
- [4] 古紙の需要・市況動向については紙面の都合で割愛させていただきます。

### 全原連第8回役員会

[平成23年3月24日(木)] pm3:00～  
於) 古紙センター会議室

理事・監事63名：出席63名

(内、委任出席35名) 欠席0名

#### (1) 古紙再生促進センター 関係

##### ●業務委員会(3月24日開催)

##### ◎平成23年度事業計画(案)について

- ・古紙品質安定対策事業、広報宣伝事業、調査研究事業、債務保証事業、その他の事業について各々の事業見直しを行う。

##### ◎平成23年4～9月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

- ・震災前の計画であり、計画の見直しを検討する。

##### ◎各地区の震災後の状況・課題・意見等について

- ・メーカー及び組合より報告があり、意見の集

約及び共有を行い冷静に対応していくこと。

◎東北関東大震災に伴うメッセージ

- ①古紙需給両業界は、現状と課題の認識を有し、混乱回避に向けてともに努力する。
- ②古紙回収・流通業界は国内製紙メーカーへの供給を優先すると同時に輸出によって需給のバランスをとる。
- ③紙業界は流通段階での滞留を回避するため、安定的な引取と在庫の運用に努める。
- ④車両燃料油の不足状態が長期化するようであれば、製紙連、全原連、日資連と連携して経産省へ増産を要請する。

◎今後の日程

平成23年4月25日(月) 13:30～14:30  
業務委員会(センター会議室)

平成23年5月23日(月) 13:30～14:30  
業務委員会(センター会議室)

(2) 経済産業省 関係

◎第3回懇談会(3月22日開催)について

- ・経済産業省委託調査「古紙市場安定化に関する調査報告書」冊子77ページ監修(株)矢野経済研究所)
- ・原料の供給(調達)については国内を最優先にお願いの要請がありました。

(3) 全原連 関係

◎審議事項(役員会上程、承認事項)

①役員の補充について・・・承認

- ・関東商組より2名の役員補充を推薦

平成22年6月30日福士淳治氏(王子斎藤紙業(株)、辞任)推薦 白砂一樹氏

平成23年1月31日深田和利氏(株)國光、死去)推薦 朝倉行彦氏

- ・任期:残任期間(平成24年5月定例総会まで)

②第34回通常総会次第及び役割分担について・・・承認

- ・幹事当番:中国地区商組

- ・分担:司会、開会の辞、議長選出、議案審議、懇親会(全般)

③古紙持ち去りに関する対応状況について

\*東京都における「古紙持ち去り問題対策検討協議会」の動き

- ・第3回開催予定:3月23日(水)開催

出席者:東京都環境局廃棄物対策部、行政(台東区、港区、国立市、日野市)

製紙メーカー、直納問屋、回収業者、古紙再生促進センター、警視庁

- ・製紙メーカーとして「抜き取り品」について買わない方向で動き、直納問屋に対し製紙メーカーより成約書の要請があった場合は協力をお願いしたいとのこと。

\*日資連によるプレス発表(3月4日)

- ・「持ち去り古紙の流通阻止運動」について(プレス発表資料)

④「日本古紙品質認定(J-BRAND)制度」事業トライアルについて

- ・トライアル調査期間変更:

平成23年5月1日～7月31日(3ヵ月)

(当初:平成23年4月1日～6月30日)

## 古紙センター関東地区委員会

[平成23年2月24日(木)] pm2:00～

於)古紙センター会議室

\*会議中止(データのみ)

[需要動向] 10/12月 単位トン、

( )は対前年同月比、在庫の( )は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞] 仕入 61,826 (99.0%)

出荷 63,114 (98.3%)

在庫 9,780 (15.5%)

[雑誌] 仕入 45,395 (99.6%)

出荷 46,887 (101.6%)

	在庫	8,276 ( 17.7%)
[段ボール]	仕入	111,251 ( 97.2%)
	出荷	112,664 ( 95.6%)
	在庫	13,284 ( 11.8%)
<b>[関東・静岡実績]</b>		
[新聞]	入荷	190,022 ( 93.6%)
	消費	210,872 ( 96.9%)
	在庫	142,754 ( 67.7%)
[雑誌]	入荷	99,087 (100.2%)
	消費	106,916 ( 98.5%)
	在庫	55,425 ( 51.8%)
[段ボール]	入荷	240,788 (101.6%)
	消費	259,906 (105.6%)
	在庫	88,849 ( 34.2%)

## 4 月度定例理事会

[平成 23 年 4 月 4 日 (月)] pm4 : 00

出席理事 28 名 於) 組合会議室

### **近藤理事長挨拶**

3 月 11 日の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会中に東日本大震災が発生しました。会議場は停電となり一時、新幹線も止まりましたが、何とか時間はかかりましたが東京へ戻りました。我々に関連あります多くの同業者、又は製紙メーカーの工場等が被災にあわれました。特に日本製紙石巻工場は壊滅的な被害となりました。さらに福島第一原発の事故により放射能問題、計画停電という深刻な問題を引き起こしました。現在、我々の業界につきましては経済産業省との申し合わせによりまして、国内の製紙メーカーに対する古紙原料の供給を最優先する事となりました。これにより関東商組の 4 月の輸出は中止となり、東京協組の 4 月の共販輸出も中止致しました。輸出に伴う仕入価格が過熱している地域が多くなっており

ます。全原連でも国内製紙メーカーに優先的に古紙の出荷をすると共に、仕入価格を国内価格に準拠した適正価格となるよう調整中です。放射能による輸出問題、計画停電による家庭紙メーカーの状況、DIP の薬品不足の問題等、今後、予測しづらい問題が沢山出てくると思います。来月に総会をひかえており準備をしながらの対応となるので大変忙しくなりますがよろしくお願い致します。又、義援金につきましても支部ごとに募金を始めております。こちらの方もよろしくお願い致します。

### **[各部報告]**

#### **[直納部]**

全般の市況については、震災後に放射能の影響で輸出しにくい状況にある。東北方面の製紙メーカーが被害にあい生産面で影響が出てくるとされる。

#### **[品目別市況]**

[家庭紙] 家庭紙メーカーは 20%以上の減産をしている。2 月は生産と出荷がほぼ同じであった。現在は地震の影響で生産が順調ではない。紙の漂白に使用する過酸化水素や苛性ソーダが不足してきている。今のところ古紙原料の在庫にタイト感はない。古紙原料の需要も強くない。製品価格は徐々に上昇してきている。今後は古紙原料の発生が減少してくると思われる。

[段ボール] 輸出は、ほとんど止まっている状態である。放射能問題を考え対応している。

[新聞・雑誌] 地震で紙業界関連の会社が被害にあっている。インクが材料がなくなっている。紙を漂白する過酸化水素などのシェアの大きい会社も被害にあっている。計画停電による影響で製品の生産が思うようにできず減少するのではないかと思われる。今後も発生が減少していくので国内の需要を最優先しなければならない。一部製紙メーカーでは震災によりダメージをおった製

品を原料として使用しているところがあるようである。

[台紙] 計画停電の影響で生産が減少している。

[オフィス古紙] 3月は地震後の10日間くらい発生が悪かった。その後、年度末までは増えている。現在は、計画停電の影響で発生が減少している。

[返本] 発生は被災地と以外の所でも減少している。地震の関係で商品が届かない所が増えている。今後、インクが少なくなり印刷が出来ない状況が多くなって来るのではないと思われる。

#### [集荷部]

3月の発生は年度末の関係からある程度あった。中とし業者は酷い状況。印刷関係からの発生が減っている。4月は印刷屋で仕事が入っていない状況の所が多い。全体的に集荷量が減少してきている。

#### [広報部]

先週、広報誌3月号がお手元に届いたと思います。現在は広報5月総会号の準備中です。第55回通常総会が中心となる内容ですが、各支部で開催された総会の記事も掲載予定です。広報部として総会資料の作成についても準備中です。事業報告は、ほとんど出来あがっていますが各業務部部长に23年度の事業計画の作成を依頼しております。4月11日の総会資料検討会には原稿の最終確認をする予定です。

#### [事業部]

総会資料の事業計画を作成中です。23年度は現在行っているガソリンカードをさらに広めたい事と都市近代化事業協同組合の自動車共済保険についても利用を広めたいと思っています。

#### [青年部]

印刷産業青年連絡協議会の総会に呼ばれている。今後、準会員として活動する予定である。第49回永年勤続従業員表彰時に青年部会の総会を開催する。今回は幹事長が交代する予定である。

#### [近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーのテキストを購入依頼中である。

需給委員会：各地区の状況を調べているところである。

#### [その他]

- ・紙器協同組合との第1回会合を6月6日(月)に開催予定。
- ・廃業による脱退者2名の承認 - 足立支部・上州屋商店(平成23年3月31日付)  
江墨支部・武田紙業(株)(平成22年11月30日付)
- ・23年度のランク変更：千代田支部  
(有)近藤商店と(名)遠忠商店がB→A変更
- ・支部報告 - 荒川支部から支部長の交代と理事の交代及び辞任者が出る予定との報告を受けた。
- ・義援金について：1口2,000円を基本として組合の領収書を発行。義援金の送り先は「日本赤十字」を予定。

## 古紙センター関東地区委員会

[平成23年4月22日(木)] am11:00～  
於)古紙センター会議室

[需要動向] 11/3月 単位トン、  
( )は対前年同月比、在庫の( )は在庫率

#### [関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	63,930 ( 88.4%)
	出荷	62,888 ( 89.8%)
	在庫	10,822 ( 17.2%)
[雑誌]	仕入	60,810 ( 98.2%)
	出荷	52,153 ( 88.8%)
	在庫	16,933 ( 32.5%)
[段ボール]	仕入	124,607 ( 96.0%)
	出荷	123,516 ( 98.9%)
	在庫	14,375 ( 11.6%)

**[関東・静岡実績]**

[新聞]	入荷	202,828 (90.5%)
	消費	203,629 (86.3%)
	在庫	141,953 (69.7%)
[雑誌]	入荷	117,792 (103.5%)
	消費	104,273 (90.2%)
	在庫	68,944 (66.1%)
[段ボール]	入荷	291,368 (113.2%)
	消費	295,657 (107.7%)
	在庫	84,560 (28.6%)

\*コメントは省略致します。

**古紙センター業務委員会**

[平成23年4月25日(月)] pm1:30

於) 古紙センター会議室

- [1] 公益財団法人への移行について
- [2] 古紙の需要・市況動向については、紙面の都合で割愛させていただきます

**全原連第1回役員会**

[平成23年4月25日(月)] pm3:00～

於) 古紙センター 会議室理事・監事63名  
出席63名(内、委任出席32名)欠席0名

**(1) 古紙再生促進センター 関係**

- 業務委員会(4月25日開催)
- ◎公益財団法人移行について
  - ①公益財団法人への移行に伴う監督官庁の変更
    - ・平成23年4月1日付けで、当センターは公益財団法人に移行したことにより、監督官庁が経済産業省から内閣府に変更になりました。
  - ②公益財団法人の機関(理事会、評議員会)
    - ・評議員会が法人の最高意志決定機関になります。ただし評議員会の決議事項は法律と定款で定められた事項に限定されます。

- ・理事会(業務執行機関)は業務執行(事業計画・予算の作成等)の決定機関となり、理事の職務執行の監督、代表理事及び業務執行理事の選定・解職を行い、これまでのように評議員を選任することはできません。

- ・評議員会や理事会は本人出席が前提  
評議員：就任(平成23年4月1日)、任期4年(平成23年4月～平成27年6月)  
理事：就任(平成23年4月1日)、任期2年(平成23年4月～平成25年6月)  
監事：就任(平成23年4月1日)、任期4年(平成23年4月～平成27年6月)

- ・評議員：11名、  
役員：代表理事1名、業務執行理事5名、理事23名、監事2名

◎昇華転写紙(捺染紙)混入防止対策調査報告書について

- ・平成22年2月に昇華転写紙の古紙への混入防止対策を検討する目的で「昇華転写紙混入防止対策チーム」を組織し、検討委員会を設置した報告書を作成。

◎今後の日程

平成23年5月23日(月) 13:30～14:30  
第2回業務委員会(センター会議室)  
平成23年6月15日(水) 13:00～14:15  
第1回通常理事会(センター会議室)  
14:15～15:15  
第3回業務委員会(センター会議室)

**(2) 経済産業省 関係**

◎懇談会(4月25日開催)について  
\*原料の供給(調達)については国内を最優先にお願いの要請をしましたが、不透明感があり、国内及び中国の動向に注視している。(坂本課長談)

\*各地域の状況(要点拨粋)

- ・輸出について風評被害が出ている。
- ・放射線検査を実施すれば問題がないのだがリスクを嫌って商社はやりたくない。
- ・コンテナ（外側）から規定量を超す放射線が検出されてしまうと検査不合格となるケースがあり、今後検討する必要がある。
- ・地震の際に荷崩れで発生した製品が古紙となり、一時的に発生が増えるとの見方がある。
- ・雑誌の発生が増加している。
- ・家庭紙においては生産が追いついていなかったが現在は一服感がある。

### (3) 全原連 関係

◎審議事項（役員会上程、承認事項）

①第34回通常総会報告書（案）について……承認

- ・中国地区商組より第3号議案について差等割変更の件承認

②古紙持ち去りに関する対応状況について

\*東京都における「古紙持ち去り問題対策検討協議会」の動き

- ・第3回開催予定：3月23日（水）開催  
出席者：東京都環境局廃棄物対策部、行政（台東区、港区、国立市、日野市）

製紙メーカー、直納問屋、回収業者、古紙再生促進センター、警視庁

- ・製紙メーカーとして「抜き取り品」について買わない方向で動き、直納問屋に対し製紙メーカーより成約書の要請があった場合は協力をお願いしたいとのこと。

③「古紙リサイクルアドバイザー」推薦認定者の確認調査実施について……承認

- ・調査期間：平成23年6～7月、調査方法：各単組単位調査

④「古紙リサイクルアドバイザー事業主推薦認定」申請の停止について……承認

- ・停止期日：平成23年4月30日以後受験申請に変更する（受付9月予定）

⑤「古紙商品化適格事業所」認定申請内容の一部確認事項の変更について……承認

- ・「古紙リサイクルアドバイザー」認定試験実施に伴い、当該認定有資格者の内、「古紙品質管理責任者」認定試験受験を前提に申請する。

⑥ホームページリニューアルについて……承認

- ・画面の変更（日経エコプロダクト使用画面及び全原連リーフット使用）

- ・優良性評価事業の中、古紙商品化適格事業所一覧表を掲載

1. 他団体等に関する報告事項等

(1) 古紙再生促進センター関係

業務委員会（4月25日開催）

(2) 経済産業省との懇談会（4月25日開催）

2. 全原連に関する審議事項等

(1) 通常総会報告等

(2) 東京都古紙持ち去り問題対策検討協議会第3回（3月23日開催）

(3) 各委員会報告

## 5 月度定例理事会

[平成23年5月6日（金）] pm4:00

出席理事 25名 於）組合会議室

**近藤理事長挨拶**

円高や放射能による風評被害の問題がなかなか終息しません。先月、組合員各位にお願いした義援金につきましては、約97万円という大変大きな金額を募る事ができ、ありがとうございました。又、5月1日には、当組合の坂田亮作相談役が亡くなりました。永年勤続従業員表彰や清風会等の多

くの組合行事を立ち上げた功労者であります。ご冥福をお祈り申し上げます。今月は総会月となり準備等で忙しくなるとは思いますがご協力のほどよろしくお願い致します。

#### [各部報告]

##### [総務部]

5月23日に総会が開催されるので、準備等についてご協力よろしく申し上げます。

##### [直納部]

5月度の共販輸出は、2社が入札に参加したが入札価格が国内価格を下回っている事と、経産省の国内需給優先の意向を受けスキップ扱いと決まりました。4月末より単価が弱含みです。価格にかかわらず関東エリアの商品出荷は懸念されている。連休明けからも単価の下落が続くと推測。中国の製品販売は非需要期に入っています。

直納部主催の海外メーカー工場視察研修は、9月16日(金)～19日(月)に実施予定。訪問先は検討中だが、候補地としてシンガポール、マレーシアが上がっている。

全般の市況については、震災後に関西と東日本で古紙の動きに差がでてきている。輸出は放射能の影響で滞っている。雑誌は若干、余剰がみ。段ボール、新聞はメーカーにより不足感が出ている。連休後、中国向け輸出が再開すると一時的にタイトになるのではと思われる。

##### [品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙製品は震災後動きが激しかったが、ここへきて落ちついてきたようだ。製品価格も少しずつ上昇してきているようである。家庭紙メーカーの古紙原料在庫は、生産する上では問題なかったようである。理由として輸出用が国内に流れたのではないかとと思われる。3月は計画停電の影響で製品の生産が落ちており4月に入っても良くない。出版関係も仕事が減ってきており良くない。5月に入り発生は良くない。今後、古紙

原料は余剰感がなくなるのではないかとと思われる。

[段ボール・新聞・雑誌] 放射能の影響で中国輸出にブレーキがかかった。しかし、他の輸出先としてタイ等には関東圏から流れたようである。中国へは関西地区からの輸出が順調のようである。新聞の発生は激減している。いまだに紙面数が少ないままである。

雑誌は余剰感が強い。メインの売り先は中国であり、中国以外だと国内よりも価格が安くなってしまふ。

[オフィス古紙] 震災直後は、発生が多くなったが、5月の連休明けから少なくなってきた。

##### [集荷部]

発生が落ち込んでいる。集荷業者はほとんど仕事がない状況が続いている。印刷関係では、予定していたものが紙不足とインク不足でキャンセルが出ている。

##### [広報部]

広報誌は、5月総会号を総会終了後に記事を作成して6月に送付予定。掲載内容は、第55回通常総会が中心となります。各支部で開催された支部総会の記事も掲載予定です。尚、先月号に引続き、組合員紹介を提出してもらう予定ですのでご協力をお願いします。

##### [事業部]

組合の収入源となるガソリンカードの新規利用者の推進と都市近代化事業協同組合の自動車共済保険についても利用を広めたいと思っている。

##### [青年部]

5月7日に印刷産業青年連絡協議会の総会に出席予定。第49回永年勤続従業員表彰の時間帯に、別室にて青年部会の総会を開催する。

##### [近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーのテキストの購入について、各支部長より資格者に

購入希望のアンケートを取ってもらう。後日、各支部に組合事務局より資格者リストとアンケートを送付する予定。

#### [その他]

- ・紙器協同組合との第1回会合を6月16日(木)に開催変更。
- ・義援金について：各支部より義援金が合計で約97万円集まった。組合より3万円ほどプラスして100万円を日本赤十字社に送る予定。
- ・上物古紙在庫報告のデータ公開について：今後、在庫のみのデータを関東商組の取り扱い会社と加算して、東京協組より古紙センターへ報告する。

## 古紙センター関東地区委員会

[平成23年5月20日(金)] am11:00～

於) 古紙センター会議室

[需要動向] 11/4月 単位トン、

( )は対前年同月比、在庫の( )は在庫率

#### [関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	63,429 ( 88.1%)
	出荷	64,164 ( 87.5%)
	在庫	10,087 ( 15.7%)
[雑誌]	仕入	66,604 (103.1%)
	出荷	69,138 (104.2%)
	在庫	14,399 ( 20.8%)
[段ボール]	仕入	126,673 ( 98.2%)
	出荷	127,225 ( 93.7%)
	在庫	13,823 ( 10.9%)

#### [関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	218,923 ( 93.2%)
	消費	192,575 ( 85.5%)
	在庫	167,034 ( 86.7%)
[雑誌]	入荷	129,517 ( 99.7%)
	消費	119,146 ( 99.5%)
	在庫	79,315 ( 66.6%)

[段ボール] 入荷	326,596 (111.6%)
消費	303,373 ( 97.8%)
在庫	107,783 ( 35.5%)

\*コメントは省略致します。

## 編集後記

広報部副部長 **脇 克美**

第55回通常総会も滞りなく終了し、近藤 勝理事長のもと、新たな体制で新年度がスタートいたしました。わたしも役員の一員として微力ながら組合に対して貢献してゆきたいと考えております。

それにしても一番気にかかるのは、やはり東日本大震災の現在と今後の復興へ向けての道筋が見えないこと。福島第一原発の安定化がはっきりしないことです。原発では日が経つにつれ新たな危険性が明らかにされる始末でとても東電や政府の発表した工程通り進むとは信じられません。

二か月以上が経過しているのですから、与党だ野党だ等言っていないで垣根など無くし、国家一体となった復興策を示していただきたいと願っております。我が組合では皆様のご厚意によりとりあえず百万円の義援金を日赤に届けることが出来ました。災害の規模からすれば微々たるものかもしれませんが、復興に向けてはあと何年か懸かるでしょう。何かお役に立てることがあれば積極的にかかわってゆきたいと考えています。